

器官制御医学講座／泌尿器科学分野 附属病院／泌尿器科

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	横山 修	平成14年5月－
准教授	伊藤 秀明	平成18年7月－（平成27年4月－現職）
講師	青木 芳隆	平成5年5月－平成8年6月、平成16年4月－（平成27年3月－現職）
		平成9年5月－平成11年3月、平成13年7月－平成15年3月、平成17年4月－平成19年3月、平成21年4月－平成23年9月、平成25年4月－（平成27年5月－現職）
講師	松田 陽介	平成27年5月－現職
助教	福島 正人	平成28年6月－
助教	山内 寛喜	平成15年5月－平成17年3月、平成19年4月－平成23年3月、平成25年9月－
		平成18年4月－平成21年3月、平成23年4月－平成25年1月、平成25年4月－（平成26年10月－現職）
助教	多賀 峰克	平成16年4月－平成22年3月、平成24年4月－平成25年12月、平成25年2月－平成29年3月（平成27年5月－平成29年3月：助教）
助教	岡田 昌裕	平成19年4月－平成22年3月、平成24年4月－（平成28年4月－現職）
助教	関 雅也	

2. 研究概要

研究概要

当領域は以下の研究部門による研究を継続実施している。

- 1) 尿路性器悪性腫瘍部門
- 2) 腎臓部門
- 3) 下部尿路機能部門
- 4) 性機能部門
- 5) 排尿ケア部門

1) 尿路性器悪性腫瘍部門

1-1) 尿路上皮がんに関する研究では、糖鎖である硫酸化シアリルルイスX (sLeX)が膀胱尿路上皮癌細胞に発現し、血管内皮細胞に発現するE-セレクトインとの結合能を有することを明らかにした。これは硫酸化sLeXを発現する循環細胞が血管内皮と接着し癌の転移に関与する可能性が示唆された。一方、膀胱間質に硫酸化sLeXを発現するHEV様血管が誘導されていることも明らかにした。一部は腫瘍細胞の近傍に位置しリンパ球の浸潤を伴っていた。リンパ球の中には細胞障害性Tリンパ球も含まれており、腫瘍免疫に関与している可能性があり、研究を進める。またシアリルルイス抗原は膀胱癌以外にも腎癌や上部尿路癌、前立腺癌など他の泌尿器科癌でも発現することが報告されている。前立腺癌や腎癌においても同様に糖鎖マーカーの有用性を検証して行く予定である。

1-2) すべての糖鎖は血管内皮細胞に発現するE-セレクトインとの接着能を有し転移に関与することが示唆されている。糖鎖の足場蛋白の一つとされるMUC1蛋白の発現も糖鎖発現に関与していると考えられ、その足場蛋白の発現と糖鎖発現ひいては腫瘍細胞の悪性度/転移能に関して検討を行う。またMUC1をターゲットにしたMUC1由来ワクチンなどによる治療も行われており免疫治療における役割に関しても検討を行う予定である。

1-3) 細胞死に関わるオートファジーの誘導が癌治療のストラテジーとして注目されている。一方でオートファジーは種々のストレスに対する細胞の防御反応ともなることが知られている。また、蛋白をコードしていないmicroRNA (miRNA) が、mRNAに干渉することで遺伝子発現を調整する働きを持つことが報告され癌治療への応用が期待されている。miRNAうちmiR-204が腎癌細胞においてオートファジーを誘導することが報告された。miR-204の発現制御によってオートファジーを誘導することが腎癌治療にどのような効果をもたらすのかを解明することが進行腎癌に対する治療の一助となると考えられ、新たな研究が開始された。

2) 腎臓部門

家族内発生の先天性水腎症の原因遺伝子として分化制御因子Id2を中心に、その遺伝子変異解析を行っている。また、腎動態シンチトレーサーであるMAG3による腎機能評価の結果が併用薬剤の影響を受ける可能性について、近位尿管に発現する有機アニオントランスポーター (OAT1) 発現との関連について検討を行っている。

3) 下部尿路機能部門

3-1) メタボリック症候群モデルとしてOLETFラット、高血圧の病態モデルとして食塩感受性高血圧ラットを用いて、蓄尿障害発生メカニズムや、 β 3アゴニスト、phosphodiesterase 5 inhibitor (PDE5i) の作用メカニズムについて検討を行った。その結果、OLETFラットには膀胱血流障害が存在し、PDE5iはその血流障害を改善すること、また膀胱上皮由来のメデイエータであるATPの放出を抑制することで蓄尿障害を改善させる可能性があることを報告した。また食塩感受性高血圧ラットにも膀胱血流障害が存在し、膀胱上皮由来のメデイエータであるATPの放出亢進がみられた。 β 3アゴニストは食塩感受性高血圧ラットの膀胱機能を改善させる可能性が示唆された。

3-2) 抗コリン薬は膀胱知覚C線維を抑制し夜間多尿を改善することを報告してきた。他の抗コリン薬やC線維を抑制する他剤ではどうか、また交感神経が関与するかについて研究を行なった。また、高齢者に多い脳血管障害や前立腺肥大症、さらには脊髄疾患に伴う過活動膀胱に焦点を当てて神経生理学的、分子薬理学的の研究を行なった。下部尿路機能障害については製薬企業との共同研究が盛んで、薬剤作用機序の解明、新たな疾患モデルの開発など積極的な取り組みを行っている。

3-3) 福井県の住民健康調査を行っている施設や人間ドックの施設と協力して受診者に質問票を渡して疫学的調査も行っている。メタボリック症候群や生活習慣病と下部尿路症状、特に夜間頻尿とは密接な関連があることが疫学調査の結果から解明された。福井県の人間ドックの施設と協力して受診者に質問票を渡して疫学的調査を行った。生活習慣病としての糖尿病、その前段階としてのHbA1cの異常はLUTSと関連あることが解明された。

4) 性機能部門

4-1) 性機能部門は、臨床的には勃起障害 (ED) 外来・男性更年期障害外来にて多数の患者の診療を行っている。

4-2) これまで心理ストレスはラットにおいて性行動障害を惹起することを報告してきた。その仲介を果たすのが副腎性アンドロゲンであった。これを発展させ、心理ストレスによって増加する視床下部室傍核由来の副腎皮質刺激ホルモン放出因子 (CRF) に注目した。最近になりCRFの受容体が膀胱にも存在することが明らかとなっている。これまでストレス負荷ラット膀胱にもCRFが増加していることを報告したが、その生理的意義については不明であった。しかし高血圧のような生活習慣の乱れが重なりと増悪因子となって下部尿路機能障害を惹起しているという仮説を立て、自然発生高血圧ラットを用いてCRFの膀胱での作用について検討している。これまでにCRFは膀胱収縮自体には影響しないが、CRFR1を介してM3受容体には何らかのシグナルを出してムスカリン収縮を増強させることが解明されたが、様々な炎症性サイトカインも関与している可能性があり、今後の検討課題としたい。

5) 排尿ケア部門

5-1) 排尿自立指導料が保険収載され、慢性期病院を中心に尿路管理法の見直しがなされると期待されるが、福井大学附属病院の関連病院を中心に、泌尿器科が常勤ではない施設でも、不必要な尿道カテーテル抜去を系統的に行えるように、看護師主導で行えるクリティカルパスを作成し、カテーテル留置率を下げるか否かについて、prospectiveな研究を行なった。その結果、パスに従い、残尿量をパラメーターとして効率よくカテーテルが抜去できることが解明された。

5-2) 長期尿道カテーテル留置患者における様々なトラブル対策を行っている。具体的には、カテーテル閉塞の危険因子解析、閉塞に対するクランペリッジースの予防効果、カテーテルの形状や材質による閉塞度合の差、などについて、関連病院の要介護度の高い患者を対象に調査を行っている。

キーワード

- 1) 泌尿生殖器の腫瘍、糖鎖、オートファジー
- 2) 泌尿生殖器の疾患の治療、腎移植、分子メカニズム
- 3) 泌尿生殖器の疾患、下部尿路機能、メタボリック症候群、生活習慣病、過活動膀胱、ガイドライン
- 4) 泌尿生殖器の疾患、男性更年期障害、心理ストレス、性機能障害、下部尿路機能障害
- 5) 排尿自立指導、長期留置、感染、閉塞

特色等

- 1) 糖鎖マーカー、オートファジーに注目し、泌尿生殖器癌の研究を行っている。
- 2) 先天性水腎症を高率に、しかもヒトのパターンに近い形で発症する1d2遺伝子欠損マウスの解析結果から、ヒト先天性水腎症と1d2遺伝子の関連が示唆されている。そこで、他施設との共同研究として、家族内発症例のゲノムDNAを集め、1d2遺伝子異常について7家系28名のエクソン領域の解析、および連鎖解析が終了した。今後、全ゲノムシーケンス解析を計画している。
- 3) 男性下部尿路症状・前立腺肥大症診療ガイドライン改訂版の作成委員として、また二分脊椎に伴う下部尿路機能障害の診療ガイドラインの作成委員としても活躍している。
- 4) 当部門の特色として勃起障害などの性機能障害を下部尿路機能、睡眠障害あるいは心理的ストレスとの関連からアプローチする手法で研究している。また、本邦ではまだ十分な調査が行われていない女性性機能に関する疫学調査もっており、下部尿路症状との関連性も見出している。
- 5) 現在、寝たきり患者が増加している我が国においては、長期尿道カテーテル留置中の患者に起こるカテーテル閉塞は大きな問題となっている。常勤泌尿器科医がいない病院、施設において、その対処法、あるいは不必要なカテーテルを抜去する適切な方法には、まだ確立されたものはなく、大学と民間病院とが協力しながら行う画期的な取り組みである。

本学の理念との関係

超高齢化社会を迎え、泌尿器科疾患を有する患者も急増している。尿路性器悪性腫瘍に限らず下部尿路機能障害、性機能障害などQOL疾患に対しても世界的水準での研究・教育を推進し、地域・国・国際社会に貢献できる人材の育成と独創的な研究を行っている。特に産学官連携を推進し、広く社会に貢献していると自負している。

3. 研究実績

区分	編数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
	2016～2016年分	2016年分	2016～2016年分	2016年分
和文原著論文		1	—	—
	ファーストオーサー	1	1.878 (1.878)	1.878 (1.878)
英文論文		3	36.391 (6.391)	6.391 (6.391)
	コレスポンドイング・オーサー	3	36.391 (6.391)	6.391 (6.391)
	その他	5	37.82 (37.82)	37.82 (37.82)
	合計	8	44.211 (44.211)	44.211 (44.211)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

1641001

JS. Pesonen, R. Cartwright, A. Mangera, H. Santti, TL. Griebing, AE. Prylukhin, J. Riikonen, RM. Tähtinen, A. Agarwal, JF. Tsui, CP. Vaughan, AD. Markland, TM. 2nd. Johnson, R. Fonsell-Annala, C. Khoo, TL. Tammela, Y. Aoki, A. Auvinen, D. Heels-Ansdell, GH. Guyatt, KA. Tikkinen: Incidence and remission of nocturia: A systematic review and meta-analysis, Eur Urol, 70(2), 372-381, 201608, DOI: 10.1016/j.eururo.2016.02.014, #14.976

1641002

RM. Tähtinen, R. Cartwright, JF. Tsui, RL. Aaltonen, Y. Aoki, JL. Cárdenas, R. El Dib, KM. Joronen, S. Al Juaid, S. Kalantan, M. Kochana, M. Kopeck, LC. Lopes, E. Mirza, SM. Oksjoki, JS. Pesonen, A. Valpas, L. Wang, Y. Zhang, D. Heels-Ansdell, GH. Guyatt, KA. Tikkinen: Long-term impact of mode of delivery on stress urinary incontinence and urgency urinary incontinence: A systematic review and meta-analysis, Eur Urol, 70(1), 148-158, 201607, DOI: 10.1016/j.eururo.2016.01.037, #14.976

1641003

M. Ohtani, H. Suto, T. Nosaka, Y. Saito, Y. Ozaki, R. Hayama, T. Naito, K. Takahashi, K. Ofuji, H. Matsuda, K. Hiramatsu, T. Nemoto, H. Shioura, H. Kimura, Y. Aoki, O. Yokoyama, Y. Nakamoto: Long-term endoscopic follow-up of patients with chronic radiation proctopathy after brachytherapy for prostate cancer, Diagn Ther Endosc, 2016, 1-7, 201606, DOI: 10.1155/2016/1414090

1641004

Y. Matsuta: Editorial comment to differences in neurotransmitter systems of ventrolateral periaqueductal gray between the micturition reflex and nociceptive regulation: An in vivo microdialysis study, Int J Urol, 23(7), 598-598, 201607, DOI: 10.1111/iju.13116, #1.878

1641005

K Shimizu, N Kosaka, Y Fujiwara, T Matsuda, T Yamamoto, T Tsuchida, K Tsuchiyama, N Oyama, H Kimura: Arterial Transit Time-corrected Renal Blood Flow Measurement with Pulsed Continuous Arterial Spin Labeling MR Imaging, Magn Reson Med Sci, 16(1), 38-44, 201701, DOI: 10.2463/mrms.mp.2015-0117, #1.385

1641006

O. Yokoyama, O. Nishizawa, Y. Homma, M. Takeda, M. Gotoh, H. Kakizaki, H. Akino, K. Hayashi, K. Yonemoto: OASIS project group.: Nocturnal polyuria and hypertension in patients with lifestyle related diseases and overactive bladder, J Urol, 197(2), 423-431, 201702, DOI: 10.1016/j.juro.2016.08.087, #4.7

1641007

H. Ishida, H. Yamauchi, H. Ito, H. Akino, O. Yokoyama: α 1D-adrenoceptor blockade increases voiding efficiency by improving external urethral sphincter activity in rats with spinal cord injury, Am J Physiol Regul Integr Comp Physiol, 311(5), R971-R978, 201611, DOI: 10.1152/ajpregu.00030.2016, #3.168

1641008

R. Yokokawa, H. Akino, H. Ito, X. Zha, O. Yokoyama: Nerve growth factor release from the urothelium increases via activation of bladder C-fiber in rats with cerebral infarction, Neurourol Urodyn, 201609, DOI: 10.1002/nau.23142, #3.128

b. 原著論文（審査無）

c. 原著論文（総説）

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

(3) 和文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

1641009

松田 陽介, 横山 修: 尿失禁: 泉 孝英: 今日の診療のために ガイドライン 外来診療2017, 17, 日経メディカル開発, 335-341, 20170227, 9784931400818

1641010

福島 正人, 横山 修: 神経疾患（中枢、脳神経、脊髄損傷など）: 谷口 珠実, 武田 正之: 泌尿器Care&Cure Uro-Lo別冊 下部尿路機能障害の治療とケア - 病態の理解と実践に役立つ, 1, 株式会社メディカ出版, 52-62, 20170305, 9784840461368

1641011

横山 修: 推薦文: 谷口 珠実, 武田 正之: 泌尿器Care&Cure Uro-Lo別冊 下部尿路機能障害の治療とケア - 病態の理解と実践に役立つ, 1, 株式会社メディカ出版, 5, 20170305, 9784840461368

c. 編集・編集・監修

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

1641012 関 雅也, 伊藤 秀明, 谷尾 信, 土山 克樹, 横山 修: 馬蹄腎に合併した多発腎盂結石に対して腹腔鏡下腎盂切石術を施行した1例, Jpn J Endourol, 29(1), 141-144, 201606, DOI: <http://doi.org/10.11302/jsejje.29.141>

b. 原著論文（審査無）

c. 総説

d. その他研究等実績（報告書を含む）

1641013 横山 修, 伊藤 秀明, 青木 芳隆, 松田 陽介, 福島 正人: 男性下部尿路症状とメタボリック症候群, 腎臓内科・泌尿器科, 5(2), 140-144, 20170228

1641014 青木 芳隆, 岡田 昌裕, 横山 修: 下部尿路症状とメタボリック症候群, 泌尿器外科, 30(2), 143-147, 20170215

1641015 青木 芳隆: 排尿障害Update 下部尿路症状の疫学-メタアナリシスによる新たな知見-, Urology Today, 23(2), 32-35, 20160525

1641016 横山 修, 伊藤 秀明, 青木 芳隆, 松田 陽介, 山内 寛喜: 前立腺肥大症とメタボリック症候群, Prostate Journal, 3(1), 71-75, 20160401

1641017 松田 陽介, 横山 修: 薬物治療の適応となる male LUTS とは?, 排尿障害プラクティス, 24(2), 16-24, 20161225

1641018 松田 陽介, 横山 修: 抗コリン薬, 臨床泌尿器科, 70(6), 418-423, 20160520, DOI: <http://dx.doi.org/10.11477/mf.1413205710>

1641019 伊藤 秀明: 高血圧と下部尿路症状, 排尿障害プラクティス, 24(1), 39-44, 20160620

1641020 横山 修: 過活動膀胱とは一定義と発症のメカニズム-, カレントセラピー, 34(12), 8-13, 20161201

1641021 山口 脩, 横山 修, 武田 正之: 特集Ⅲ〈座談会〉: ブライマリアケアで診る過活動膀胱-ペニタス®発売5周年を迎え、エキスパートが説く病態と治療の最新情報-, Astellas Square, 12(4), 16-21, 20160801

1641022 横山 修: 生活習慣病とLUTS, 第104回日本泌尿器科学会総会記録集 Current Topics, 2-3, 201608

1641023 横山 修: 特集に寄せて 生活習慣病と下部尿路症状, 排尿障害プラクティス, 24(1), 13-13, 20160620

e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

1641024 O.Yokoyama: Metabolic Syndrome and LUTS - Osamu Yokoyama
State of the Art Lecture, 第46回国際禁制学会年次総会 (ICS2016 TOKYO), 東京都千代田区, 20160914

b. シンポジスト・パネリスト等

1641025 Y.Matsuta: Case report & discussion: Nocturia, The 11th Pan-Pacific Continence Society (PPCS) Annual Meeting, 北京(中国), 20161009

1641026 H.Ito: Metabolic syndrome and BPH, AUA Annual Meeting 2016, SBUR Breakout Session I Manchester Grand Hyatt~Hillcrest Room, San Diego(USA), 20160507

c. 一般講演（口演）

1641027 Y.Aoki, M.Okada, S.Yokoi, Y.Matsuta, H.Ito, C.Matsumoto, Y.Kusaka, O.Yokoyama: Bidirectional relationship between nocturia and insomnia in a longitudinal study among japanese men and women, 第46回国際禁制学会年次総会 (ICS2016 TOKYO), 東京都千代田区, 20160914

1641028 Y.Matsuta: Low-frequency transcutaneous electrical stimulation of foot for refractory OAB as a home-based treatment: Who can obtain the benefit?, 14th Urological Association of Asia Congress 2016, Singapore, 20160722

d. 一般講演（ポスター）

1641029 Y.Matsuta, N.Hashimoto, Y.Aoki, H.Akino, O.Yokoyama: Low-frequency transcutaneous electrical stimulation of foot can be a novel home-based treatment for refractory OAB, AUA Annual Meeting 2016, San Diego(USA), 20160509

1641030 Y.Aoki, M.Tsutsumiuchi, A.Itoga, M.Seki, Y.Matsuta, H.Ito, C.Matsumoto, Y.Kusaka, O.Yokoyama: The association between urinary incontinence and delivery: a cross-sectional study among Japanese women, AUA Annual Meeting 2016, San Diego(USA), 20160509

1641031 Y.Aoki, M.Tsutsumiuchi, A.Itoga, M.Okada, S.Yokoi, T.Kurokawa, Y.Matsuta, H.Ito, C.Matsumoto, Y.Kusaka, O.Yokoyama: Straining to void and IPSS-QOL score are independently associated with dyspareunia, AUA Annual Meeting 2016, San Diego(USA), 20160506

1641032 N.Emori, Y.Takayama, S.Ito, H.Akino, S.kasamatu: Influence of our new nursing system, the Partnership Nursing SystemR (PNS), on the medical safety, Confused registration International Forum on Quality and Safety in Healthcare, Singapore(Singapore), 20160928

1641033 M.Tagu, H.Hoshino, Shulin Low, Y.Imamura, H.Ito, M.Kobayashi, O.Yokoyama: A potential role for 6-sulfo sialyl LewisX in metastasis of bladder urothelial carcinoma, AUA Annual Meeting 2016, San Diego(USA), 20160508

1641034 O.Yokoyama, M.Takeda, M.Gotoh, M.Yoshida, H.Kakizaki, S.Takahashi, N.Masumori: Effects of imidafenacin on urine production, voided volume, and hours of undisturbed sleep in overactive bladder patients with nocturnal polyuria ? post hoc analysis of two clinical trials, EAU2017, OAB and nocturia Poster Session 42, London(UK), 20170326

e. 一般講演

f. その他

(2) 国内学会（全国レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

- 1641035** 青木 芳隆：地域包括ケアを目指した回復期～慢性期病棟における泌尿器科医の役割，第23回日本排尿機能学会，シンポジウム2 地域包括ケアシステムにおける排泄指導の課題，東京都千代田区，20161206
- 1641036** 青木 芳隆：尿路感染対策と看護師主導の尿道カテーテル抜去パス，第24回日本慢性期医療学会，ランチョンセミナー5，金沢市，20161028
- 1641037** 青木 芳隆：糖尿病と下部尿路症状，第104回日本泌尿器科学会総会，教育セミナー22，仙台市，20160424
- 1641038** 松田 陽介：脳内アセチルコリンと膀胱機能，第23回日本排尿機能学会，教育セミナー3 排尿障害治療薬の未来予想図－Dreams Come True－，東京都千代田区，20161207
- 1641039** 松田 陽介：過活動膀胱の診断と治療（難治性を中心に），第81回日本泌尿器科学会東部総会，卒後教育プログラム 排尿機能・神経泌尿器科，青森市，20161008
- 1641040** 横山 修：生活習慣の乱れと下部尿路障害、その関係を紐解く，第23回日本排尿機能学会，イブニングセミナー4 蓄尿障害、病態と治療の最前線，東京都千代田区，20161207
- 1641041** 横山 修：生活習慣病を考慮した排尿障害治療のupdate，第68回西日本泌尿器科学会総会，イブニングセミナー2，下関市，20161125
- 1641042** 横山 修：生活習慣病からみた排尿障害治療Update，第59回日本糖尿病学会年次学術集会，ランチョンセミナー25，京都市，20160520

c. 一般講演（口演）

- 1641043** 青木 芳隆，三谷 陽香，水野 孝映，内方 ゆかり，前多 志乃布，宮脇 まりあ，宮永 健，山村 真由美，木村 知行，山下 詠子，横山 修：尿道カテーテル抜去パスを利用した看護師主導の排尿自立支援の取り組みー常勤泌尿器科医不在の2病院での260例の経験ー，第23回日本排尿機能学会，口演6：男性尿失禁、排尿管理，東京都千代田区，20161207
- 1641044** 関 雅也，查 新民，長瀬 桂子，山内 寛喜，松田 陽介，青木 芳隆，伊藤 秀明，横山 修：心理ストレスと高血圧：なぜ下部尿路機能障害を起こすのか？－Corticotropin-releasing factor の果たす役割ー，第23回日本排尿機能学会，東京都千代田区，20161207，G-3
- 1641045** 福島 正人，横山 修，伊藤 秀明，青木 芳隆，山内 寛喜，多賀 峰克，岡田 昌裕，関 雅也，稲村 聡，品川 友親，堤内 真実，糸賀 明子，小林 久人，田中 伸樹：オルト・トルイジンによると思われる職業性膀胱癌の検討，第66回日本泌尿器科学会中部総会，四日市市，20161028
- 1641046** 青木 芳隆，糸賀 明子，堤内 真実，関 雅也，岡田 昌裕，松田 陽介，伊藤 秀明，横山 修：排尿時腹圧をかける女性は性交痛を有する危険度が高まるー人間ドッグ受診者を対象とした横断的研究ー，第18回日本女性骨盤底医学会，小倉市，20160611
- 1641047** 青木 芳隆，荒井 陽一，横山 修，植村 天受，藤澤 正人，ヴィオレッテ フィリップ，ティキネン カリ：泌尿器科領域の術後静脈血栓塞栓症予防についてー日本泌尿器科学会会員を対象としたアンケート調査ー，第104回日本泌尿器科学会総会，仙台市，20160424
- 1641048** 松田 陽介，横井 聡始，橋本 儀一，青木 芳隆，秋野 裕信，横山 修：難治性過活動膀胱患者におけるneuromodulation therapyの安全性と有用性についての検討ー高齢者と非高齢者における比較ー，第104回日本泌尿器科学会総会，仙台市，20160424
- 1641049** 秋野 裕信，桑原 宜美，藤井 真砂子，北浜 紀美子，寺崎 和代：オカレンス報告を当事者全員に要求する活動からわかったこと，第11回医療の質・安全学会，千葉市，20161119
- 1641050** 伊藤 秀明：前立腺肥大症に伴うOAB薬物治療の長期アウトカム，第104回日本泌尿器科学会総会，フロンティア企画 8 / 排尿障害・LUTS（OAB）シンポジウム「OAB治療の長期アウトカムを検証する」，仙台市，20160424
- 1641051** 横山 修：State-of-the-art lecture 生活習慣病とLUTS，第104回日本泌尿器科学会総会，仙台市，20160424
- 1641052** 加藤 卓浩，飯野 志郎，宇都宮 慧，小泉 遼，長谷川 稔，多賀 峰克，村上 真，藤林 哲男：下半身麻痺患者の坐骨部褥瘡から生じたFournier壊疽の1例，第67回日本皮膚科学会中部支部学術大会，大阪市，20161023

d. 一般講演（ポスター）

- 1641053** 黒川 哲之，長瀬 桂子，山内 寛喜，松田 陽介，青木 芳隆，伊藤 秀明，横山 修：高血圧ラットにおける食塩摂取制限が膀胱機能に及ぼす影響に関する実験的研究，第23回日本排尿機能学会，東京都千代田区，20161206
- 1641054** 小練 研司，中澤 俊之，加藤 成，藤本 森川，充洋，村上 真，廣野 靖夫，五井 孝憲，片山 寛次，青木 芳隆，横山 修，山口 明夫：Boari flap法を用いて尿管再建を行った直腸癌の一例，第41回日本外科系連合学会学術集会，大阪市，20160617，抄録集，528，201605
- 1641055** 青木 芳隆，三谷 陽香，水野 孝映，打方 ゆかり，山村 真由美，宮永 健，木村 知行，横山 修：パスを用いた看護師主導による尿道カテーテル抜去の取り組み：第2報，第29回日本老年泌尿器科学会，福岡市，20160513
- 1641056** 黒川 哲之，長瀬 桂子，岡田 昌裕，横井 聡始，多賀 峰克，山内 寛喜，松田 陽介，青木 芳隆，伊藤 秀明，横山 修：食塩摂取量と膀胱機能との相関に関する実験的研究，第104回日本泌尿器科学会総会，仙台市，20160425
- 1641057** 品川 友親，多賀 峰克，岡田 昌裕，横井 聡始，黒川 哲之，山内 寛喜，松田 陽介，青木 芳隆，伊藤 秀明，秋野 裕信，横山 修：中高リスクでの前立腺癌手術待機時間とPSA再発の検討，第104回日本泌尿器科学会総会，仙台市，20160425
- 1641058** 秋野 裕信，桑原 宜美，北浜 紀美子，藤井 真砂子，松田 陽介，青木 芳隆，伊藤 秀明，横山 修：泌尿器科領域におけるオカレンス報告からみた医療安全に関する検討，第104回日本泌尿器科学会総会，仙台市，20160424
- 1641059** 大江 秀樹，横井 聡始，青木 芳隆，松田 陽介，棚瀬 和弥，伊藤 秀明，鈴木 裕志，三輪 吉司，村岡 紀昭，木村 浩彦，横山 修：流入過剰型持続勃起症に対する選択的動脈基柱術施行例の検討，第104回日本泌尿器科学会総会，仙台市，20160423
- 1641060** 多賀 峰克，伊藤 秀明，品川 友親，堤内 真実，星野 瞳，小林 基弘，横山 修：膀胱癌に発現する硫酸化シアリルルイスXに関する検討，第104回日本泌尿器科学会総会，仙台市，20160424
- 1641061** 村元 暁文，多賀 峰克，小松 和人，山本 秀和，三原 信也，岩堀 嘉郎，伊藤 秀明，横山 修：福井県における去勢抵抗性前立腺癌に対するアピラテロンの使用経験，第104回日本泌尿器科学会総会，仙台市，20160424
- 1641062** 兜 貴史，伊藤 秀明，関 雅也，多賀 峰克，黒川 哲之，山内 寛喜，横山 修：当院における腎腫瘍に対する腹腔協手術治療の検討，第104回日本泌尿器科学会総会，仙台市，20160424
- 1641063** 福島 正人，関 雅也，糸賀 明子，堤内 真実，横山 修：腹腔鏡下脛仙骨固定術において安全に子宮を摘出するのに有用なMorSafeの使用経験について，第11回日本骨盤臓器脱手術学会学術集会，東京都文京区，20170312
- 1641064** 皆川 倫範，後藤 百万，横山 修，菅谷 公男，菊池 隆，山西 友典，川原 和也，加賀 勘家，山城 浩一，宇野 恵美子，西澤 理：プロビペリン塩酸塩の女性尿失禁に対する効果 FRESH試験，第23回日本排尿機能学会，東京都千代田区，20161206

e. 一般講演

f. その他

(3) 国内学会（地方レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

1641065 岡田 昌裕, 青木 芳隆, 堤内 真実, 稲村 聡, 松田 陽介, 伊藤 秀明, 横山 修, 塩浦 宏樹, 大越 忠和, 今村 好章, 大山 伸幸: 前立腺癌密封小線源挿入療法後に膀胱癌を発症した1例, 第455回日本泌尿器科学会北陸地方会, 金沢市, 20170304

1641066 青木 芳隆, 小林 久人, 糸賀 明子, 堤内 真実, 品川 友親, 稲村 聡, 関 雅也, 岡田 昌裕, 多賀 峰克, 山内 寛喜, 福島 正人, 松田 陽介, 伊藤 秀明, 横山 修: 福井大学医学部附属病院における排尿自立指導の取り組みについて, 第454回日本泌尿器科学会北陸地方会, 金沢市, 20161204

1641067 福島 正人, 青木 芳隆, 横山 修: オルト・トルイジンによると考えられる職業性膀胱癌の検討, 第59回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会総会, 福井市, 20161023

1641068 田中 伸樹, 小林 久人, 品川 友親, 多賀 峰克, 松田 陽介, 青木 芳隆, 伊藤 秀明, 横山 修: 子宮内膜症を合併した尿道上皮内癌の1例, 第453回日本泌尿器科学会北陸地方会, 金沢市, 20160910

1641069 松田 陽介, 品川 友親, 岡田 昌裕, 青木 芳隆, 伊藤 秀明, 横山 修: 難治性過活動膀胱に対する経皮的末梢神経刺激の効果についての検討, 第452回日本泌尿器科学会北陸地方会, 金沢市, 20160618

1641070 伊藤 秀明, 小林 久人, 稲村 聡, 関 雅也, 多賀 峰克, 山内 寛喜, 松田 陽介, 横山 修: 福井大学におけるロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術の初期経験, 第455回日本泌尿器科学会北陸地方会, 金沢市, 20170304

1641071 多賀 峰克, 小林 久人, 品川 友親, 関 雅也, 伊藤 秀明, 横山 修, 酒井 康弘, 今村 好章: Acquired cystic disease-associated renal cell carcinomaの1例, 第454回日本泌尿器科学会北陸地方会, 金沢市, 20161204

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

1641072 黒川 哲之: 夜間頻尿と高血圧（臨床と実験において）, 第29回北陸排尿障害研究会, コーヒーブレイクセミナー, 金沢市, 20160703

c. 一般講演（口演）

1641073 福島 正人, 山内 寛喜, 多賀 峰克, 岡田 昌裕, 関 雅也, 稲村 聡, 品川 友親, 堤内 真実, 糸賀 明子, 小林 久人, 田中 伸樹, 松田 陽介, 青木 芳隆, 伊藤 秀明, 大江 秀樹, 横山 修: オルト・トルイジンによると思われる職業性膀胱癌の検討, 第20回北陸腎泌尿器癌研究会, 金沢市, 20160910

1641074 青木 芳隆, 横山 修, 三谷 陽香, 水野 孝映, 内方 ゆかり, 宮永 健, 山村 真由美, 木村 知行, 前多 志乃布, 宮脇 まりあ, 山下 詠子: 常勤泌尿器科医不在の2病院における看護師主導の排尿自立支援の取り組み～尿道カテーテル抜去パスを利用した260例の経験～, 第29回北陸排尿障害研究会, 金沢市, 20160703

1641075 品川 友親, 多賀 峰克, 稲村 聡, 岡田 昌裕, 関 雅也, 堤内 真実, 糸賀 明子, 小林 久人, 田中 伸樹, 山内 寛喜, 福島 正人, 松田 陽介, 青木 芳隆, 伊藤 秀明, 横山 修: 中高リスクでの前立腺癌手術待機時間とPSA再発の検討, 第21回北陸前立腺癌研究会, 金沢市, 20160618

1641076 糟野 健司, 横井 靖二, 伊藤 秀明, 多賀 峰克, 福島 佐知子, 森田 紗由, 小林 麻美子, 森川 幸恵, 三上 大輔, 高橋 直生, 木村 秀樹, 秋野 裕信, 横山 修, 岩野 正之: リツキシマブを用いたAB0不適合腎移植と抗体陽性腎移植の自験例, 第103回福井県腎疾患研究会, 福井市, 20170316

1641077 横川 竜生, 秋野 裕信, 査 新民, 伊藤 秀明, 横山 修: 脳梗塞ラットにおける尿路上皮由来の神経成長因子は膀胱知覚C線維の活性化によって増加する, 第21回北陸泌尿器科 Basic Research Meeting, 金沢市, 20170304

1641078 品川 友親, 多賀 峰克, 伊藤 秀明: 当院におけるAB0不適合腎移植1例目の経験, 第11回北陸腎移植検討会, 金沢市, 20161015

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(C) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者
----	-----------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研究費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	期間（年度）	金額（配分額）
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	期間（年度）	金額（配分額）
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究（C）（一般）	夜間頻尿の変動はその関連疾患の変化を察知する代用マーカーとなりうるか？	青木 芳隆	横山 修、日下 幸則、松田 陽介、岡田 昌裕、松本 智恵子	2016	2470000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究（C）	neuromodulation：神経可塑への作用は過活動膀胱の新治療となり得るか	松田 陽介	横山 修	2016	1430000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究（C）	脳梗塞に伴う過活動膀胱の発症予防を目指す非神経因性膀胱壁過緊張に関する研究	秋野 裕信	横山 修、松田 陽介	2016	1690000
文部科学省科学研究費補助金	挑戦的萌芽研究	慢性ストレスと肥満：なぜ下部尿路機能障害を起こすのか？	横山 修	伊藤 秀明、関 雅也	2016	780000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究（B）	過活動膀胱は動脈硬化と関連しない低活動膀胱発症の危険因子か	関 雅也		2016	1950000

(B) 奨学金等

受入件数	19
受入金額	17900000

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
その他の研究集会	主催者	第43回福井泌尿器科フォーラム	20170119-20170119	福井商工会議所（福井県福井市）
その他の研究集会	主催者	第42回福井泌尿器科フォーラム	20161124-20161124	バードグリーンホテル（福井県福井市）
その他の研究集会	主催者	第17回越水会セミナー	20161112-20161112	福井パレスホテル（福井県福井市）
その他の研究集会	主催者	第20回北陸腎泌尿器癌研究会	20160910-20160910	金沢都ホテル（石川県金沢市）
その他の研究集会	主催者	第41回福井泌尿器科フォーラム	20160728-20160728	ユアーズホテルフクイ（福井県福井市）

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
日本老年泌尿器科学会	理事（理事）	横山 修
日本排尿機能学会	代議員（代議員）	横山 修
日本泌尿器科学会	代議員（代議員）	横山 修
日本排尿機能学会	理事長	横山 修
日本女性骨盤底医学会	理事（理事）	横山 修
日本脊髄障害医学会	評議員	横山 修
日本老年泌尿器科学会	評議員（評議員）	横山 修
日本Men's Health医学会	理事（理事）	横山 修
日本アンドロロジー学会	評議員（評議員）	横山 修
日本排尿機能学会	理事	横山 修
日本泌尿器内視鏡学会	代議員（代議員）	伊藤 秀明
日本内視鏡外科学会	一般会員	伊藤 秀明
日本Endourology・ESWL学会	一般会員	伊藤 秀明
日本癌治療学会	一般会員	伊藤 秀明
日本癌学会	一般会員	伊藤 秀明
日本泌尿器科学会	一般会員	伊藤 秀明
日本排尿機能学会	代議員	青木 芳隆
日本小児泌尿器科学会	一般会員	青木 芳隆
国際禁制学会	一般会員	青木 芳隆
日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会	一般会員	青木 芳隆
日本排尿機能学会	代議員	松田 陽介
前立腺癌密封小線源永久挿入治療研究会（前立腺シード研究会）	一般会員	松田 陽介
日本Endourology・ESWL学会	一般会員	松田 陽介
日本排尿機能学会	一般会員	松田 陽介

(C) 座長

国内学会	学会名	氏名
一般講演	福井県泌尿器科医会2月例会	横山 修
招待・特別講演等	第13回夜間頻尿を考える会	横山 修
招待・特別講演等	トビエースエキスパートセミナー	横山 修
招待・特別講演等	第43回福井泌尿器科フォーラム	横山 修
シンポジウム等	第23回日本排尿機能学会 教育セミナー1	横山 修
シンポジウム等	第23回日本排尿機能学会 シンポジウム2	横山 修
招待・特別講演等	第42回福井泌尿器科フォーラム	横山 修
一般講演	北陸前立腺癌連携セミナー	横山 修

業績一覧

シンポジウム等	第66回日本泌尿器科学会中部総会 イブニングセミナー	横山 修
招待・特別講演等	福井県泌尿器科医会10月例会	横山 修
シンポジウム等	The 11th Pan-Pacific Continence Society (PPGS) Annual	横山 修
招待・特別講演等	福井県泌尿器科医会9月例会	横山 修
シンポジウム等	11th Japan-ASEAN Conference on Men's Health and Aging ランチョンセミナー	横山 修
招待・特別講演等	福井県腎細胞癌学術講演会	横山 修
招待・特別講演等	第41回福井泌尿器科フォーラム	横山 修
シンポジウム等	第18回日本在宅医学会大会、第21回日本在宅ケア学会学術集会、ランチョンセミナー15	横山 修
一般講演	第4回福井ADPKD研究会	横山 修
その他	福井PDカテーテルセミナー	横山 修
招待・特別講演等	日本アンドロロジー学会第35回学術大会 招請講演①	横山 修
招待・特別講演等	福井県泌尿器科医会6月例会	横山 修
シンポジウム等	第18回日本女性骨盤底医学会 ランチョンセミナー2	横山 修
招待・特別講演等	福井県泌尿器科医会5月例会	横山 修
シンポジウム等	第104回日本泌尿器科学会総会 フロンティア企画 8	横山 修
シンポジウム等	第104回日本泌尿器科学会総会 イブニングセミナー2	横山 修
招待・特別講演等	福井県泌尿器科医会4月例会	横山 修
一般講演	第42回福井泌尿器科フォーラム	青木 芳隆
一般講演	福井県泌尿器科医会3月例会	伊藤 秀明
一般講演	第43回福井泌尿器科フォーラム	伊藤 秀明
その他	福井県CRPC化学療法座談会	伊藤 秀明
一般講演	第41回福井泌尿器科フォーラム	伊藤 秀明
招待・特別講演等	第5回移植アラカルト	伊藤 秀明
一般講演	福井県泌尿器科医会6月例会	伊藤 秀明

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	委員長（主査）・委員	氏名
----------	------------	----

(E) その他

1641079	伊藤 秀明: “元気で医こう” 広がるロボット手術 迅速に腎腫瘍を切除 (日刊県民福井), 20170218
1641080	伊藤 秀明: 血液型不適合で腎移植 福井大病院、県内初成功 (福井新聞), 20160505
1641081	福島 正人, 関 雅也, 堤内 真実, 糸賀 明子: 21～23日に尿漏れ無料相談受け付け (日刊県民福井), 20170211
1641082	福島 正人, 関 雅也, 堤内 真実, 糸賀 明子: 尿漏れ、骨盤臓器脱 21日から電話相談 (福井新聞), 20170202
1641083	福島 正人, 関 雅也, 堤内 真実, 糸賀 明子: 尿漏れ・骨盤臓器脱、6～8日に無料電話相談 (福井新聞), 20160901
1641084	福島 正人, 関 雅也, 堤内 真実, 糸賀 明子: 尿失禁と骨盤臓器脱相談 (日刊県民福井), 20160831
1641085	福島 正人, 関 雅也: 骨盤臓器脱の無料電話相談 福井大病院で21、23日 (日刊県民福井), 20160610
1641086	福島 正人, 関 雅也: 21、23日に骨盤臓器脱の電話相談 (福井新聞), 20160609
1641087	横山 修: 診療ガイドライン実践講座第2回前立腺肥大症診療ガイドライン - 診療アルゴリズム (エムスリー株式会社/キッセイ薬品工業株式会社), 動画配信, 201612
1641088	横山 修: 先生教えて! UUI (切迫性尿失禁) (ファイザーUUI (切迫性尿失禁) 相談室), WEBページにて対談動画とメッセージ掲載, 201611